

釣り中の転落事故に注意!!

事故概要

【防波堤からの転落】

9月24日（土）の夜間、事故者は蒲郡市内の漁港で釣りをしていたところ、釣りに夢中になり高さ約6メートルの防波堤から足を踏み外し転落しました。

事故者は、足を複雑骨折し、全治3か月と診断されました。



【消波ブロックの間に転落】

9月25日（日）の昼間、事故者は常滑市内の防波堤で釣りを終えて帰宅するため、両手に荷物を持って消波ブロックの上を歩いていたところ、バランスを崩し消波ブロックの隙間に転落しました。

事故者は、全治1～2週間の打撲・擦り傷を負いました。



事故を防止するために

◆ 釣り場周辺の安全を確かめる。

→釣り場に着いたら、まずは風や波の状態や足場周辺は滑らないかなど、周辺の状況を確認めたうえで、釣りに夢中になりすぎないように、安全第一で楽しみましょう。

◆ 足場が不安定なところで無理な移動はしない。

→消波ブロックなどの足場が悪い場所では、無理な移動はしないようにしましょう。

また、荷物を手に持って岩場や消波ブロックに飛び渡るのは危険です。

リュック等を背負い、両手は開けるようにしましょう。

◆ 命を守るためにライフジャケットを常時着用する。

→海中転落等、万が一に備えて常時ライフジャケットを着用しましょう。



事故が発生した時は

- 海中に転落した時は、岩場などからは、できるだけ離れて救助を求めましょう。
 - 海中転落者を発見した時は、笛や大声で付近の人に知らせ多くの人の援助を求めましょう。
- 海中転落者を一人や二人の力で引き上げることは非常に困難です。

